

■当ファンドの仕組みは次の通りです。



商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2008年6月16日から2028年6月15日まで	
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主 要 運用対象	ベ ビ ー ファンド	DWS ロシア株式マザー ファンドを主要投資対象 とします。
	マ ザ ー ファンド	ロシアの株式(これに準ず るものを含みます。)等を 主要投資対象とします。 ロシアの株式への投資に あたっては、主にロシア の企業が発行する株式及 び預託証書等に投資しま す。なお、事業活動の大 半がロシアで行われる企 業が発行する株式及び預 託証書等に投資すること もあります。
組入制限	ベ ビ ー ファンド	株式への実質投資割合に は制限を設けません。 外貨建資産への実質投資 割合には制限を設けませ ん。
	マ ザ ー ファンド	株式への投資割合には制 限を設けません。 外貨建資産への投資割合 には制限を設けません。
分配方針	毎決算時(原則として毎年6月15日及び12月15日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費等控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

DWS ロシア株式ファンド

第36期 運用報告書(全体版)

決算日 2026年6月15日

■投資者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「DWS ロシア株式ファンド」は、2026年6月15日に第36期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ドイチュ・アセット・マネジメント株式会社
東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ森JPタワー

〈お問い合わせ先〉

電話番号：03-6730-1308

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

<https://funds.dws.com/ja-jp/>

*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 中 率		
	円		円	%	%	百万円
32期(2024年 6 月17日)	1, 230		0	1. 2	0. 0	161
33期(2024年12月16日)	2, 230		0	81. 3	0. 0	293
34期(2025年 6 月16日)	2, 213		0	△ 0. 8	0. 0	291
35期(2025年12月15日)	2, 199		0	△ 0. 6	0. 0	289
36期(2026年 6 月15日)	2, 184		0	△ 0. 7	0. 0	287

(注)当ファンドの参考指数であったMSC I ロシア 10/40(税引後配当込み 米ドルベース)が2022年6月に廃止になったため、ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在せず、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

(注)当ファンドはマザーファンドを組入れますので、株式組入比率は実質比率を記載しております。

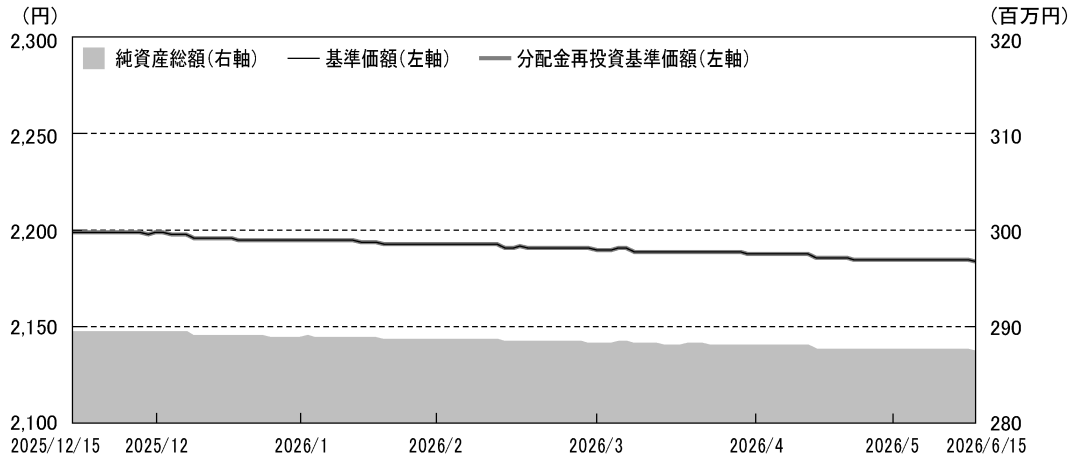
○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	%
2025年12月15日	2, 199		—	0. 0
12月末	2, 199		0. 0	0. 0
2026年 1 月末	2, 195		△0. 2	0. 0
2 月末	2, 193		△0. 3	0. 0
3 月末	2, 190		△0. 4	0. 0
4 月末	2, 188		△0. 5	0. 0
5 月末	2, 185		△0. 6	0. 0
(期 末)				
2026年 6 月15日	2, 184		△0. 7	0. 0

(注)騰落率は期首比です。

(注)当ファンドはマザーファンドを組入れますので、株式組入比率は実質比率を記載しております。

基準価額と純資産総額の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

◆基準価額

当ファンドの基準価額は期末において2,184円となり、前期末比0.7%下落しました。当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主にロシアの株式(これに準ずるものを含みます。)等に投資を行い信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。マザーファンドで保有する全ての銘柄の実質ゼロ評価を維持したことなどから、基準価額は小幅な動きとなりました。

◆投資環境

当期のロシア株式市場で株価は下落しました。利下げサイクルの停止観測やウクライナ和平協議の先行き不透明感が高まり、米国とイランの和平合意期待から原油価格が急落した後半に株価が大きく下落しました。

◆運用状況

(当ファンド)

当ファンドでは引き続きマザーファンドへの投資を通じて、主にロシアの株式等に投資を行いました。

(DWS ロシア株式マザーファンド)

期中の投資行動はありませんでした。

◆収益分配金

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第36期
	2025年12月16日～ 2026年6月15日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,607

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

◆今後の運用方針

(当ファンド)

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、主にロシアの株式(これに準ずるものを含みます。)等に投資を行い信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

(DWS ロシア株式マザーファンド)

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、主にロシアの株式(これに準ずるものを含みます。)等に投資を行い信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

ロシア・ウクライナ戦争の終結に向けた協議の行方は不透明であり、ロシアが非友好国とみなす非居住者投資家が侵攻以前のような取引を再開できるようになるまでには、かなりの時間を要すると思われます。引き続き情勢を注視しながら取引が可能となる等、何らかの進展があった時点で改めてさまざまな観点から状況を再評価する必要があると考えています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年12月16日～2026年 6 月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 12	% 0.543	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(0)	(0.006)	委託した資金の運用等の対価
(販 売 会 社)	(11)	(0.494)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.044)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	10	0.435	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(8)	(0.378)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用・印刷費用等)	(1)	(0.057)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	22	0.978	
期中の平均基準価額は、2,191円です。			

(注)期中において発生した費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

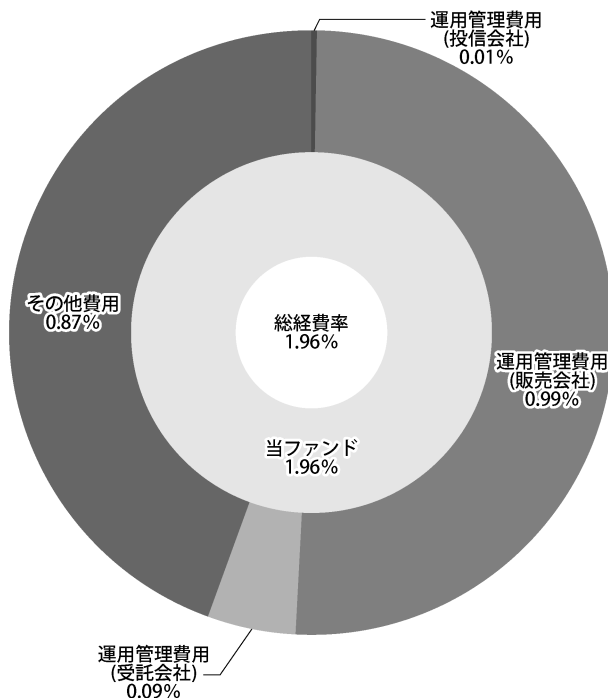
(注)各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.96%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年12月16日～2026年 6月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
DWS ロシア株式マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 5,145	千円 1,710

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2025年12月16日～2026年 6月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	DWS ロシア株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額		— 千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額		9 千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)		—

(注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) マザーファンドの数字は、当ファンドの計算期間で算出。

○利害関係人との取引状況等

(2025年12月16日～2026年 6月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、DEUTSCHE BANK AG、ドイツ証券です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2025年12月16日～2026年 6月15日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年12月16日～2026年 6月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2026年6月15日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期	末
	口 数	口 数	評 価 額
DWS ロシア株式マザーファンド	千口 870,197	千口 865,051	千円 287,629

(注)単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2026年6月15日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
DWS ロシア株式マザーファンド	千円 287,629	% 99.4
コール・ローン等、その他	1,711	0.6
投資信託財産総額	289,340	100.0

(注)評価額の単位未満は切捨て。

(注)DWS ロシア株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(630千円)の投資信託財産総額(289,371千円)に対する比率は0.2%です。

(注)外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2026年6月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=160.18円、1ユーロ=185.82円、1英ポンド=215.46円、1ロシアルーブル=2.21円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年6月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	289,340,531
DWS ロシア株式マザーファンド(評価額)	287,629,639
未収入金	1,710,892
(B) 負債	1,710,892
未払信託報酬	1,567,043
その他未払費用	143,849
(C) 純資産総額(A－B)	287,629,639
元本	1,316,744,167
次期繰越損益金	△1,029,114,528
(D) 受益権総口数	1,316,744,167口
1万口当たり基準価額(C／D)	2,184円

<注記事項>

期首元本額 1,316,744,167円
期中追加設定元本額 0円
期中一部解約元本額 0円

○損益の状況 (2025年12月16日～2026年6月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△ 261,059
売買損	△ 261,059
(B) 信託報酬等	△ 1,710,892
(C) 当期損益金(A＋B)	△ 1,971,951
(D) 前期繰越損益金	△ 739,944,050
(E) 追加信託差損益金	△ 287,198,527
(配当等相当額)	(457,599,916)
(売買損益相当額)	(△ 744,798,443)
(F) 計(C＋D＋E)	△1,029,114,528
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F＋G)	△1,029,114,528
追加信託差損益金	△ 287,198,527
(配当等相当額)	(457,599,916)
(売買損益相当額)	(△ 744,798,443)
分配準備積立金	544,087,329
繰越損益金	△1,286,003,330

(注)(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注)(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注)(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○分配金の計算過程

(2025年12月16日～2026年 6 月15日)	
項 目	当 期
a. 配当等収益(費用控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0
c. 信託約款に定める収益調整金	457,599,916
d. 信託約款に定める分配準備積立金	544,087,329
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,001,687,245
f. 分配対象収益(1万口当たり)	7,607
g. 分配金	0
h. 分配金(1万口当たり)	0

＜お知らせ＞

- ・当期末時点で、金融商品取引法第4条第1項に基づく届出は行われておりません。また、2022年2月28日より、当ファンドのご購入・ご換金のお申込みの受付を停止しております。
- ・2026年4月1日に、一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として合併を行い、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

DWS ロシア株式マザーファンド

運用報告書

《第18期》

決算日：2026年6月15日

(計算期間：2025年6月17日～2026年6月15日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	ロシアの株式（これに準ずるものを含みます。）等を主要投資対象とします。ロシアの株式への投資にあたっては、主にロシアの企業が発行する株式及び預託証書等に投資します。なお、事業活動の大半がロシアで行われる企業が発行する株式及び預託証書等に投資することもあります。
組 入 制 限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 式 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
	円		%	%	百万円
14期(2022年 6 月15日)	1,639	△89.1		12.0	148
15期(2023年 6 月15日)	1,693	3.3		14.8	151
16期(2024年 6 月17日)	1,831	8.2		0.0	161
17期(2025年 6 月16日)	3,329	81.8		0.0	291
18期(2026年 6 月15日)	3,325	△ 0.1		0.0	287

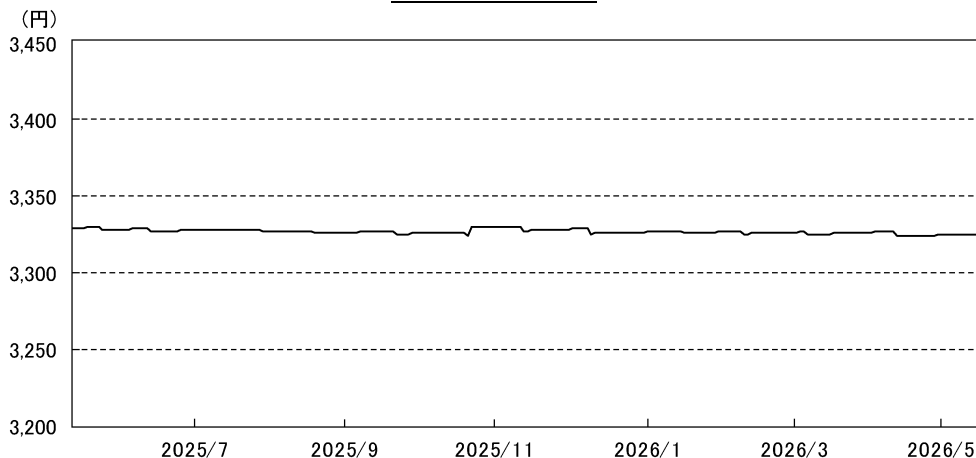
(注) 当ファンドの参考指数であったMSC I ロシア 10/40(税引後配当込み 米ドルベース)が2022年6月に廃止になったため、ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在せず、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 式 率
		騰 落	率	
(期 首) 2025年 6 月16日	円 3,329		% —	% 0.0
6 月末	3,328		△0.0	0.0
7 月末	3,328		△0.0	0.0
8 月末	3,327		△0.1	0.0
9 月末	3,326		△0.1	0.0
10月末	3,326		△0.1	0.0
11月末	3,330		0.0	0.0
12月末	3,329		0.0	0.0
2026年 1 月末	3,326		△0.1	0.0
2 月末	3,326		△0.1	0.0
3 月末	3,326		△0.1	0.0
4 月末	3,326		△0.1	0.0
5 月末	3,324		△0.2	0.0
(期 末) 2026年 6 月15日	3,325		△0.1	0.0

(注) 騰落率は期首比です。

基準価額の推移



◆基準価額

当ファンドの基準価額は期末において3,325円となり、前期末比0.1%下落しました。当ファンドは、主にロシアの株式(これに準ずるものを含みます。)等に投資を行い信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。保有する全ての銘柄の実質ゼロ評価を維持したことなどから、基準価額は小幅な動きとなりました。

◆投資環境

当期のロシア株式市場で株価は下落しました。前半はウクライナ紛争の停戦協議とそれに絡む欧米の対応、ロシア中銀の金融政策スタンスを巡る動向等に一喜一憂する展開が続きました。その後は、利下げサイクルの停止観測やウクライナ和平協議の先行き不透明感、米国とイランの和平合意期待を受けた原油価格の急落等が嫌気され、期末にかけて株価は軟調に推移しました。

◆運用状況

期中の投資行動はありませんでした。

◆今後の運用方針

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、主にロシアの株式(これに準ずるものを含みます。)等に投資を行い信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

ロシア・ウクライナ戦争の終結に向けた協議の行方は不透明であり、ロシアが非友好国とみなす非居住者投資家が侵攻以前のような取引を再開できるようになるまでには、かなりの時間を要すると思われます。引き続き情勢を注視しながら取引が可能となる等、何らかの進展があった時点で改めてさまざまな観点から状況を再評価する必要があると考えています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 6 月17日～2026年 6 月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 26	% 0.771	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(25)	(0.765)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.007)	証券投資信託管理事務等に係る費用
合 計	26	0.771	
期中の平均基準価額は、3,326円です。			

(注) 期中において発生した費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。(a) その他費用は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○ 売買及び取引の状況

(2025年 6 月17日～2026年 6 月15日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ロシア	百株 — (4)	千ロシアルーブル — (0.00005)	百株 — (4)	千ロシアルーブル — (0.00005)

(注) 金額は受渡し代金。
(注) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。
(注) ()内は増資割当、株式転換・合併等による増減分です。

○株式売買比率

(2025年 6 月17日～2026年 6 月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	一千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	9千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	－

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年 6 月17日～2026年 6 月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、DEUTSCHE BANK AG、ドイツ証券です。

○組入資産の明細

(2026年 6 月15日現在)

外国株式

銘 柄	株 数	株 数	期 末		業 種 等
			評 価 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
GAZPROM RTS CLASSIC	2,400	2,400	0.024	3	エネルギー
LUKOIL PJSC	70	70	0.0007	0.112	エネルギー
PHOSAGRO-GDR_B	0.96	0.96	0	0	素材
NEFAZ PJSC	470	470	0.0047	0.752	資本財・サービス
MAGNIT PJSC	83	83	0.00083	0.132	生活必需品
ALROSA PAO	1,750	1,750	0.0175	2	素材
SEVERSTAL-GDR REG S	100	100	0.001	0.16	素材
MAGNITOGORS-SPON GDR REGS	100	100	0.001	0.16	素材
MOSCOW EXCHANGE MICEX-RTS	1,000	1,000	0.01	1	金融
POLYUS PJSC-REG S-GDR	55	55	0.00055	0.088	素材
小 計	株 数 ・ 金 額	6,028	6,028	0.06028	9
	銘 柄 数 < 比 率 >	10	10	－	<0.0%>
(ロシア)			千ロシアルーブル		
SBERBANK OF RUSSIA PJSC	650	650	0.0065	0.014	金融
OZON INTERNATIONAL PUBLIC JSC	－	4	0.00004	0	一般消費財・サービス
VTB BANK PJSC	500	500	0.005	0.011	金融
OZON HOLDINGS PLC - ADR	40	35	0.00035	0	一般消費財・サービス
UNITED CO RUSAL INTERNATIONALA	1,500	1,500	0.015	0.033	素材
CIAN PLC-ADR	1	1	0.00001	0	コミュニケーション・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	2,691	2,691	0.0269	0.058
	銘 柄 数 < 比 率 >	5	6	－	<0.0%>
合 計	株 数 ・ 金 額	8,719	8,719	－	9
	銘 柄 数 < 比 率 >	15	16	－	<0.0%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) <内>は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注) －印は組入れなし。

(注) コードの変更等があった銘柄は、別銘柄として記載している場合があります。

(注) ロシア株式への投資は、米ドル建証券や欧米で流通する預託証書等に投資することが多いため、通貨区分が概ね米ドルとなっています。

○投資信託財産の構成

(2026年6月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	9	0.0
コール・ローン等、その他	289,362	100.0
投資信託財産総額	289,371	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 期末における外貨建純資産(630千円)の投資信託財産総額(289,371千円)に対する比率は0.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2026年6月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=160.18円、1ユーロ=185.82円、1英ポンド=215.46円、1ロシアルーブル=2.21円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年6月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	289,371,747
コール・ローン等	289,357,287
株式(評価額)	9,714
未収利息	4,746
(B) 負債	1,710,892
未払解約金	1,710,892
(C) 純資産総額(A－B)	287,660,855
元本	865,051,548
次期繰越損益金	△577,390,693
(D) 受益権総口数	865,051,548口
1万口当たり基準価額(C／D)	3.325円

<注記事項>

- ①期首元本額 875,372,135円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 10,320,587円
②当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 DWS ロシア株式ファンド 865,051,548円

○損益の状況 (2025年6月17日～2026年6月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,877,996
受取配当金	506,442
受取利息	1,371,239
その他収益金	315
(B) 有価証券売買損益	8,584
売買益	439,666
売買損	△ 431,082
(C) 保管費用等	△ 2,239,695
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 353,115
(E) 前期繰越損益金	△583,925,535
(F) 解約差損益金	6,887,957
(G) 計(D+E+F)	△577,390,693
次期繰越損益金(G)	△577,390,693

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

2026年4月1日に、一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として合併を行い、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款に所要の変更を行いました。